

授業で付きたい力 自分の思いや考えを、相手によりよく伝えたり受容したりして聞く力

学習過程	学習活動と児童の意識の流れ	学び合いを充実させるための手立て
<p><b>習得</b></p> <p>知識・技能の習得する</p>	<p><b>つかむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習との比較 おや、楽しそう</li> <li>○課題を把握 なぜ? でも</li> </ul> <p><b>考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○根拠をもとに見通す ~すればできそう</li> <li>*どんなアイテムが使いそうか (対話で、文で、図や表で、絵で)</li> <li>○自分の考えをもつ</li> <li>㊦ きっと、登場人物はこんな気持ちかな</li> <li>㊧ この部分を工夫すると、解けるかも!</li> <li>○考えを広げ深める 聞きたい! 伝えたい! 〇〇さんの考えを知りたい! ここまでは、分かったよ!</li> </ul> <p><b>学び合う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容を整理する 分かったことは? 自分の言葉で</li> </ul> <p><b>まとめる</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を高める課題の工夫</li> <li>・場面設定</li> <li>・課題の焦点化</li> <li>・既習をふり返り、解決までの見通しをもたせる</li> <li>・自分の考えを持つ時間の確保</li> <li>・根拠や筋道を明確にして考えを表現させる</li> <li>・必要に応じて、学習形態の工夫</li> <li>・自分の考えを伝えるための工夫</li> <li>・適切な用語を使い、新たな知識・技能として児童の言葉でまとめさせる</li> </ul>
<p><b>活用</b></p> <p>習得したことをどう使うかを考え、課題解決をする</p>	<p><b>深める (習得したことを使って)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○習得したことを使って・活かして、考える 分かったことをどう使おうかな</li> <li>○分かりやすく表す どう表そうかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得したことを使って解決できる問題や活動の工夫</li> </ul>
<p><b>ふり返る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の変容に気づく 勉強する前とかわったところはどこかな?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を価値付ける工夫</li> <li>・家庭学習へとつなげる工夫</li> </ul>

学び合いを充実させるための工夫

主体的・対話的に課題解決するための場の設定

学習したことが実感できる振り返りの工夫